

《共通基礎科目 教養教育科目》

科目名	こども学				
担当者氏名	中村 哲也				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択必修	開講年次・開講期	1年・春期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎ 教養教育-1 国際社会に貢献できる人材育成				

《授業の概要》

多様な分野の研究の知見を活かしながら、総合的に子ども研究を進めていこうというのが「こども学」である。この授業では、「こども」に対するかかわりあい・関係づくりに焦点を当てる。多様な子どもがいる中でどのように関わり合い関係性を作っていくのかは、深い子ども理解に基づく必要がある。実際に学生一人一人が「仲間づくり」の実践を計画実施することで、子どもの様子や心理を深く考えていってほしい。

《授業の到達目標》

資質能力の育成の必要性が高まっている。大学においても多くの知識を聞いただけということでは、「何ができるようになったのか」という課題に応えることにならない。そこで、この授業では、こどもの心理や学級での様子など「こども」に対する深い理解をもとに、実際にこどもの前に立って仲間づくりの活動ができるようになること、その技能の獲得を目指す。

《成績評価の方法》

平常点15% 授業課題 85%

《テキスト》

特定のテキストは使用しない。

《参考図書》

授業において、適宜指示する。

《授業時間外学習》

ボランティアなどの活動を行い、子どもとのかかわりの中で、学習したことが実践的に理解させることを期待する。

《備考（教員経験の有無）》

活動が中心になるので、授業への欠席はほかの学生への迷惑になるので基本的に毎回の出席を求める。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	オリエンテーション	・学習の進め方や評価の仕方の説明を行う ・子ども学とは何か
2	関係づくり・仲間づくりについて	・関係づくりの重要性について ・グループワークの体験
3	関係づくりのワークの計画準備	・関係づくりのワークのポイント ・関係づくりのワークの計画準備
4	関係づくりのワーク実施①	・関係づくりのワークを実施 ・改善点などの分析と共有
5	関係づくりのワーク実施②	・関係づくりのワークを実施 ・改善点などの分析と共有
6	関係づくりのワーク実施③	・関係づくりのワークを実施 ・改善点などの分析と共有
7	関係づくりのワーク実施④	・関係づくりのワークを実施 ・改善点などの分析と共有
8	関係づくりのワーク実施⑤	・関係づくりのワークを実施 ・改善点などの分析と共有
9	関係づくりのワーク実施⑥	・関係づくりのワークを実施 ・改善点などの分析と共有
10	関係づくりのワーク実施⑦	・関係づくりのワークを実施 ・改善点などの分析と共有
11	関係づくりのワーク実施⑧	・関係づくりのワークを実施 ・改善点などの分析と共有
12	関係づくりのワーク実施⑨	・関係づくりのワークを実施 ・改善点などの分析と共有
13	関係づくりのワーク実施⑩	・関係づくりのワークを実施 ・改善点などの分析と共有
14	活動のまとめ	・関係づくりのワークを行う中で分かったことや考えたことをまとめる ・今までのことから自分が考える最強の「関係づくりワーク」を考える
15	学習の振り返りとまとめ	学習の振り返りとまとめを行う